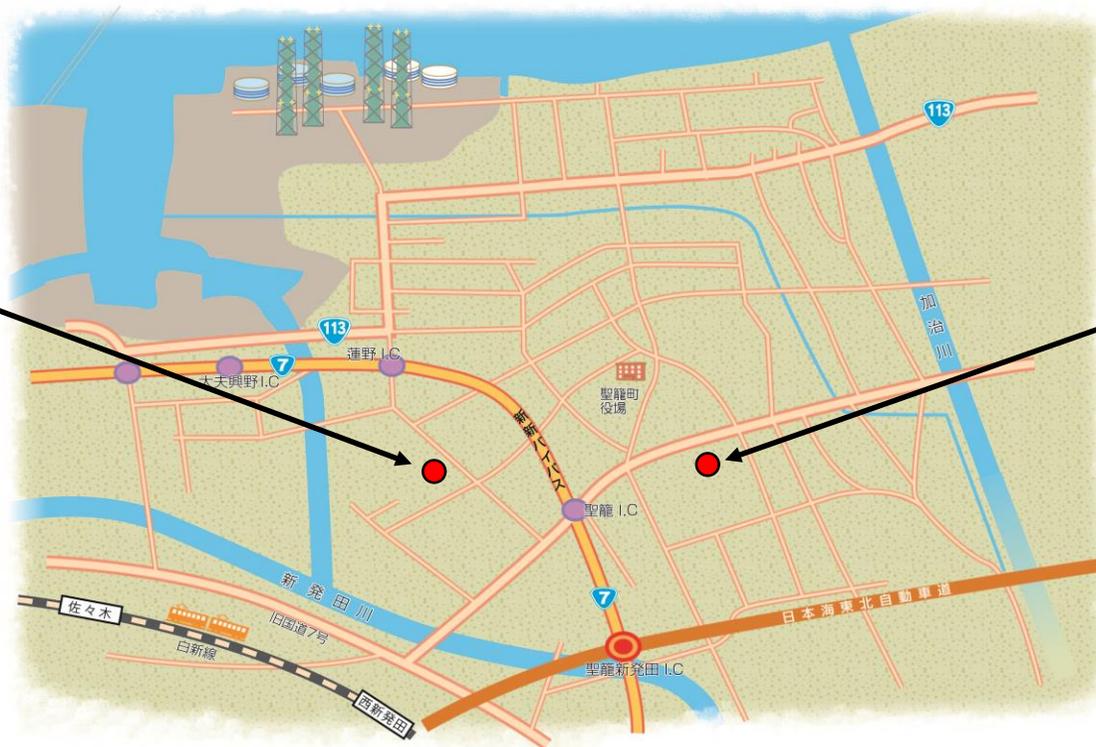


1 施設の整備候補地の調査

アンケート結果と委員会の意見書を踏まえ作成した町の基本方針に基づき、町は、整備候補地を「蓮野地区多目的屋内運動場」と「山倉地区多目的屋内運動場」の2つに絞り、比較調査を行いました。

位置図



①蓮野地区多目的屋内運動場
(H9建築) 蓮野地内
蓮野小学校隣り

②山倉地区多目的屋内運動場
(H11建築) 諏訪山地内
ざば〜ん隣り

候補を2つの施設 としたポイント

- ・道路アクセスが良く、町の中心エリアにある。
- ・成長段階に応じた複数のエリアを整備できる広さがある。
- ・大型遊具を設置できる容量がある。

○:積極的に評価すべき点 △:留意点

蓮野地区多目的屋内運動場	比較項目	山倉地区多目的屋内運動場
<p>想定ルート 【町内から】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 亀代方面>国道113号>県道203号>町道新田江線>町道杉谷内追分線 ② 亀代方面>国道113号>町道杉谷内追分線 ③ 山倉方面>県道3号>町道杉谷内追分線 <p>【町外から】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 蓮野インター>町道杉谷内追分線 ② 聖籠インター>県道3号>町道杉谷内追分線 <p>○聖籠インターから近い(約850m)。 ○蓮野インターから近い(約1.3km)。 ○乗入口となる町道杉谷内追分線の幅員 車道6m、歩道含11.8m</p>	<p>アクセス</p>	<p>想定ルート 【町内から】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 藤寄・蓮野方面>町道蓮野藤寄線>町道杉谷内追分線>県道3号>町道諏訪山三本松線>町道木の株本諏訪山線>町道観音湯線 ② 亀代方面>国道113号>県道203号>町道山諏訪山蓮瀉線>町道諏訪山松庵1号線>町道諏訪山三本松線>町道木の株本諏訪山線>町道観音湯線 <p>【町外から】</p> <p>聖籠インター>県道3号>町道諏訪山三本松線>町道木の株本諏訪山線>町道観音湯線</p> <p>○聖籠インターから近い(約1.8km)。 ○乗入口となる町道観音湯線の幅員 車道6m、歩道含11.5m △県道3号線から町道山諏訪山蓮瀉線を通してアクセスすることもできるが、この間の幅員は4mで狭く、見通しも良くないため交通量が増えた場合安全面に懸念がある。 △町道観音湯線から乗入れた場合、ざぶーんの駐車場を通過する必要がある。 △保健福祉センターの駐車場を車での通り道に使う利用者がいる可能性がある。</p>

蓮野地区多目的屋内運動場	比較項目	山倉地区多目的屋内運動場
<ul style="list-style-type: none"> ○観光農園(約500～900m) ○弁天瀉風致公園(約850m) ○PLANT-4・聖籠地場物産(約1.8km) 	<p>地域資源 有効活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ざぶーん
<ul style="list-style-type: none"> ○専用駐車場で相応の台数を確保できる(約60台)。 ○不足する場合旧蓮野こども園の駐車場および、その隣の駐車場の利用も可能(計約40台)。 	<p>駐車場</p>	<ul style="list-style-type: none"> △専用駐車場だけでは台数が不足(約10台)。 ○不足する場合保健福祉センターの駐車場の利用も可能(約150台)。 △さぶーんの駐車場が約130台あるが、現状でも土日などは満車になることも多く、遊び場を整備した場合、遊び場利用者も停める可能性が高くさらなる混雑が予想される。 △保健福祉センターの駐車場を利用してもらう場合、センターや診療所利用者を優先させる対策が必要(特に土日の健診がある日など)。 △駐車場の混雑により、ざぶーん利用客が減少したり、遊び場の利用率が想定より上がらないなどの懸念がある。 △駐車場を追加整備する場合、準備に費用・時間がかかる。
<ul style="list-style-type: none"> ○建物改修で約6億円を想定。 	<p>建設費用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○建物改修で約6億円を想定。 △駐車場を追加整備する場合は建物改修とは別に費用が必要。

蓮野地区多目的屋内運動場	比較項目	山倉地区多目的屋内運動場
<p>○1,395㎡ (現状:運動場 1,107㎡、小体育室 75㎡、和室 12畳)</p>	<p>面積</p>	<p>○1,395㎡ (現状:運動場 1,107㎡、小体育室 75㎡、和室 12畳)</p>
<p>○建物改修で約2年を想定。 (R7年度:設計プロポーザル・交付金申請 R8年度:議会議決・建築工事・物品購入・搬入)</p>	<p>工期</p>	<p>○建物改築で約2年を想定。 (R7年度:設計プロポーザル・交付金申請 R8年度:議会議決・建築工事・物品購入・搬入) △駐車場を追加整備する場合、用地取得からとなるため、 建物改築の期間より長くなる可能性がある。</p>
<p>○利用者人数 のべ9,895人(R6) のべ9,782人(R5)</p>	<p>利用者調整</p>	<p>○利用者人数 のべ9,628人(R6) のべ10,198人(R5)</p>

2 町が考える施設の整備候補地

2つの施設の調査において、面積や利用者調整の点では大きな差がありませんでしたが、以下の点で差異がありました。

①アクセス

町内からのアクセスについては、いずれの施設も大きな不便はないと考えられますが、山倉地区多目的屋内運動場は、主要道路から入りくんだ所にあるため、細い道路や保健福祉センターの敷地を通ることも考えられ、また、広い道路から乗入れてもさぶーんの駐車場を通過する必要があり、安全面での懸念があります。

町外からの利用者も多く見込まれますが、蓮野地区多目的屋内運動場は2つのインターチェンジから近いため新潟、新発田の両方面からのアクセスがよりよく、また入口に狭い道路がなく安全性もより高い立地と言えます。

②駐車場

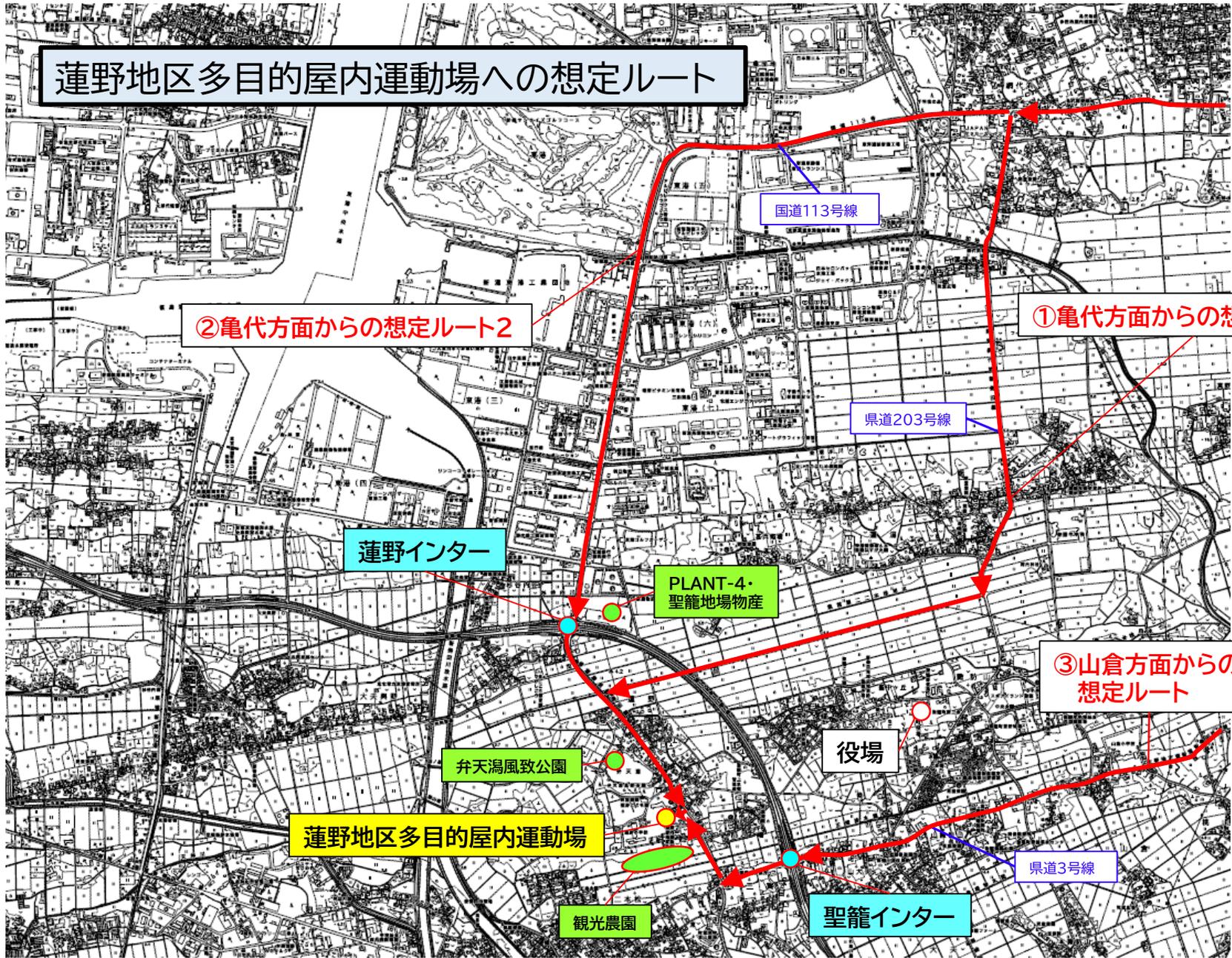
蓮野地区多目的屋内運動場は専用で相応の台数が確保できる状況であることに対し、山倉地区多目的屋内運動場は台数の不足が予想され、近隣のさぶーんや保健福祉センターの利用者への影響も懸念されるため、必要台数の確保に向けた対応が必要な状況となっています。山倉地区多目的屋内運動場に新たに駐車場を整備する場合、近くにすぐに整備できる用地がないため、用地確保に向け相応の期間が必要となることから、オープン遅延の懸念が生じ、また追加の費用も必要になります。

③地域資源有効活用

それぞれ近くに周遊できる施設等がありますが、山倉地区多目的屋内運動場は1施設であるのに対し、蓮野地区多目的屋内運動場は観光農園や公園など複数の資源が近くにあります。

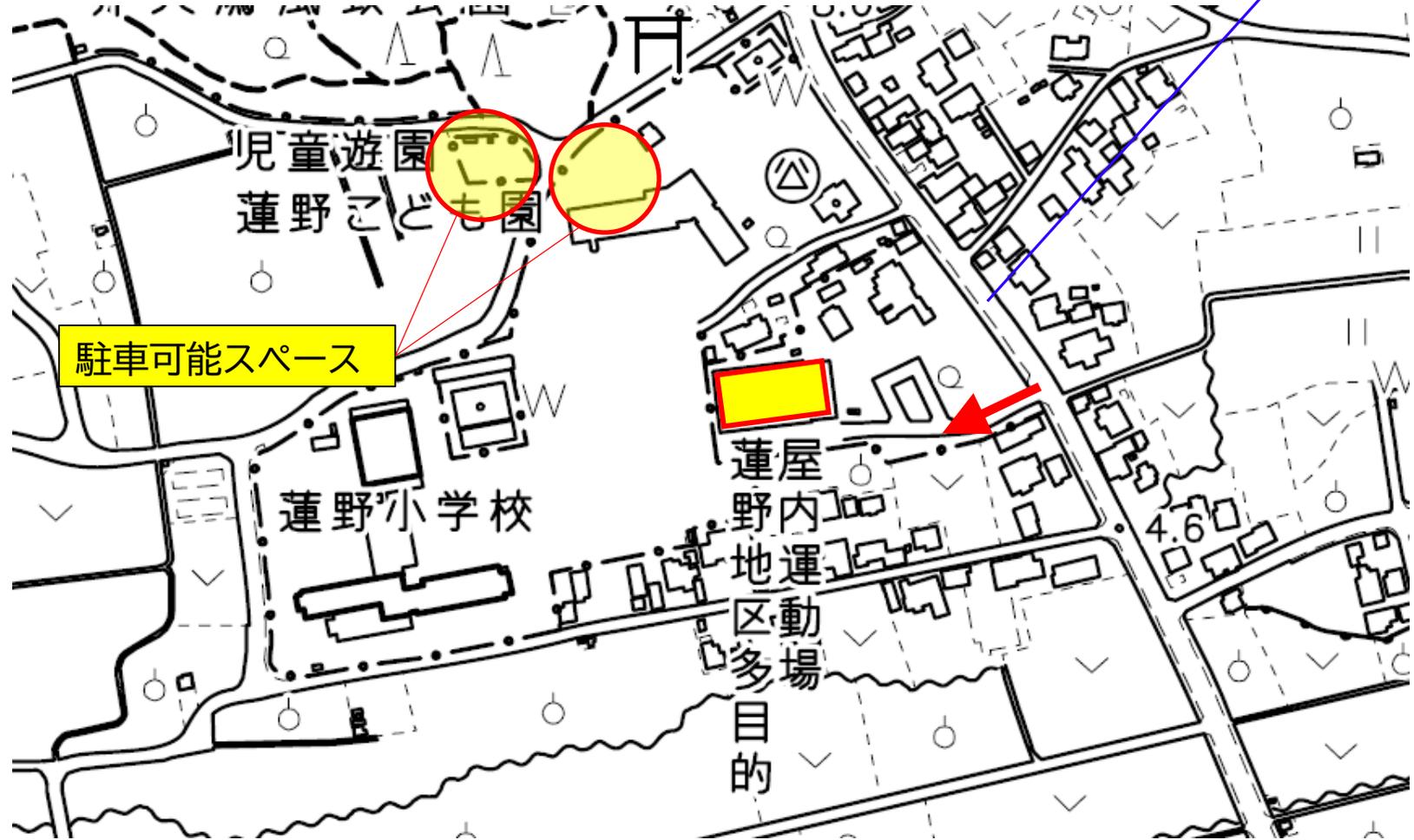
以上の調査を検討した結果、町では「**蓮野地区多目的屋内運動場**」を屋内遊び場施設の整備候補地として選定しました。

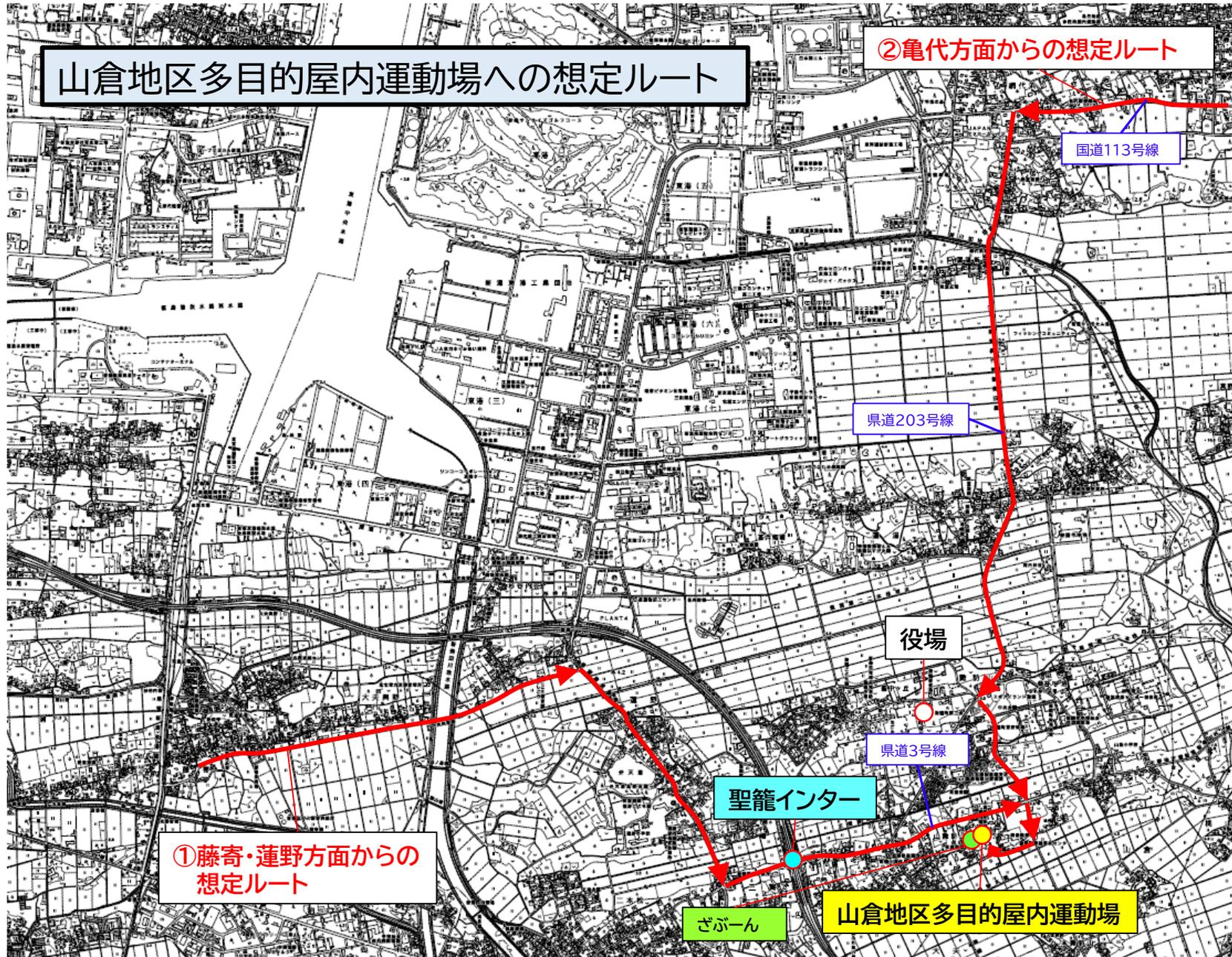
蓮野地区多目的屋内運動場への想定ルート



蓮野地区多目的屋内運動場の周辺詳細

町道杉谷内追分線





山倉地区多目的屋内運動場の周辺詳細

